

【大阪府】土地改良を契機とした農村地域の振興事例集

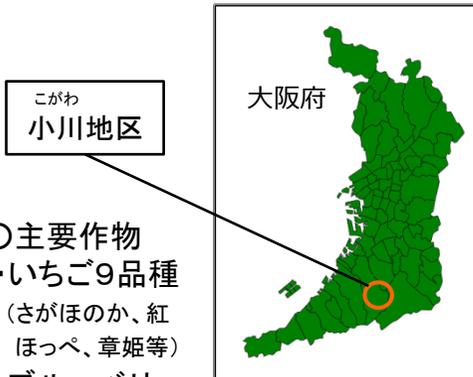
市町村	地区名等	タイトル	頁	発行月	Vol.
和泉市	小川	山間部の急傾斜な農地が高収益いちご団地に変身	1	H30.03	4
岸和田市	神於山	法人設立と新規参入促進による高収益化と新たな特産品づくり	2	H31.03	5
南河内郡河南町	河南西部	高収益作物(なにわ伝統野菜等)＋産学連携・女性活躍で地域活性化	3	R元.12	6
泉南市	谷口池	下流への影響が甚大なため池における防災工事と被害の未然防止	4	R4.03	8

【工夫のポイント】

- 未利用の急傾斜山地での農地造成やみかん畑の区画整理により、新たな作物であるいちごの施設栽培を実現。
- 産地形成と地域活性化のため、**地域の農家が「いづみ小川いちご組合」を結成**。都市に近い立地条件を活かし関西最大級の**いちご狩り園の運営**を開始。
- いちご狩りや直売所への出荷以外にもいちごジャムへの**加工・商品化など、6次産業化の取組にも着手**。

【取組地域の概要】

いづみし
○位置：大阪府 和泉市



- 主要作物
・いちご9品種
(さがほのか、紅ほっぺ、章姫等)
- ・ブルーベリー

- 主な支援施策
・農用地総合整備事業(H9~H20)
- ・農村振興総合整備事業(H14~19)
- ・経営構造対策事業(H17)

山間農地の緩傾斜化により優良農地を造成し 高収益作物への転換を達成

未利用の急峻な山地の農地造成と挟在するみかん畑の区画整理を併せて実施。さらに、畑地かんがい施設等の整備により、みかん以外の高収益作物への転換を実現。



基盤

基盤整備
(H9年~H20年)

【整備前】

急傾斜山地の一部をみかん畑として利用していたが、耕作条件は悪く、耕作道路も狭小で、水源も不十分であった。また、柑橘類の市場低迷も相まって、耕作放棄地の発生が相次いでいた。



生産現場

「みかん」から「いちご」への作物転換



- 農地の緩傾斜化や水路のパイプライン化等により、**ハウスによるいちごの施設栽培**が実現。
- **多品種導入により、来場者の満足度の向上を図っている。**

加工・流通

農産物加工や交流による高付加価値化

- **直売所への出荷以外にもいちごを使ったジャム「べっぴんさんジャム」やゼラート等の加工販売にも着手。**
- いちご狩りや交流施設での加工体験等による魅力の発信。



担い手

組合による地域一体となった経営展開

- 事業を契機に、「**いづみ小川いちご組合**」を設立。観光農園の運営に加え、資材の共同購入や販売に係る調整等を行い、**地域一体での戦略的な経営を展開。**

(いづみ小川いちご組合)
○ 設立:H17年
○ 組合員:4戸
○ H27作付延面積
(ハウス:6,600㎡)

いちご狩り園の盛況による販売額の向上

- 基盤整備により施設栽培が可能となったことで、**高収益ないちごに作物転換**。組合が主体となり**観光農園の運営**に加え、**加工・販売などに取り組み**ことで、**経営の多様化及び高付加価値化に成功**。組合におけるいちご狩り等による販売額は設立以降、成長を続けている。
(平成28年度の販売額は、約3千万円)

【組合におけるいちごの販売額】



【出典：いづみ小川いちご組合からの聞き取り】

【工夫のポイント】

- **基盤整備**を契機として、地元農家が農事組合法人「神於山ファーム」を設立し、機械の共同化や都市住民を農業の担い手として育成する「担い手塾」を運営。その結果、近年、**新規就農者が増加**。
- **都市住民**で組織した**援農ボランティア**「きしわだ生き生き農業応援団」や**NPO法人**「ゴールドファーム」が営農活動を展開。
- **金ごま**や**にんじん**などの**6次産業化**に取り組み、**地域に近接する直売所**で販売することで、**売り上げ・集客が増加**。

【取組地域の概要】

○位置 きしわだし
大阪府岸和田市



- **主要作物**
・水稲、水なす、しゅんぎく 等
- **主な支援施策**
・府営農地開発事業 (S58~H14)

基盤

営農条件の改善と経営規模拡大により高収益農業を実現

全てのほ場に**農道が接道**し、**用水のパイプライン化**で**水管理が容易**になるとともに、**暗渠排水も整備**され、**高収益な畑作物を栽培する生産団地が形成**。



基盤整備
(S58年~H14年)

【整備前】

急傾斜山地の一部をみかん畑などで利用していたが、**営農条件が悪く、収益性も低い**ため、**次世代への継承が困難**な状況。



生産現場

「みかん」から「野菜栽培」へ転換

- **みかん山**から**畑作**に転換したことにより、**収益性の高い畑作物の生産が拡大**。
- 近接する**直売所(愛彩ランド)**がオープンしたことで**農家所得が増大**。



地域の取組

6次産業化の推進

- **NPO法人**「ゴールドファーム」が、府内初で本格的な栽培に取り組んだ「**金ごま**」の**加工品開発**をメーカーと協力して進め、**地元直売所やスーパーなどで販売**を開始。
- 岸和田発**にんじん「彩営」**を栽培し、**市内外の業者が加工商品開発**。



担い手

法人設立と新たな担い手を確保

- 農業者を構成メンバーとした法人「**神於山ファーム**」を設立し、**都市住民**を**就農者**として育成する**担い手塾**を開催。
- **都市住民の援農ボランティア**「きしわだ生き生き農業応援団」は定期的に**体験農業、朝市**等を開催。



担い手の確保と高収益な農業体系の確立

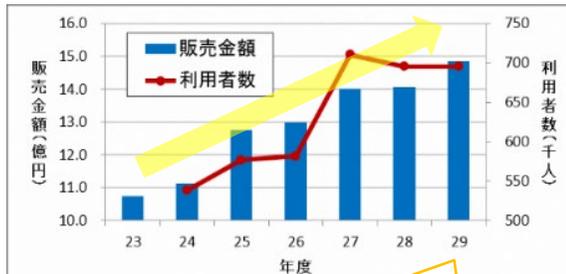
- 農業所得が向上し、農業が魅力ある産業と捉えられるようになったことから、**H21~H30**で**23名(うち22名が非農家出身)**が**就農**。

<新規就農者(23名)の内訳>

出身	人数	主な年齢層
担い手塾	15名(全員非農家出身)	60代中心
農業大学校等	8名(うち非農家出身7名)	20~30代中心

- 地区に近接する**直売所(愛彩ランド)**の**販売額・利用者数**が増加し、**農業者のモチベーション**も向上。

<直売所(愛彩ランド)の販売額と利用者数の推移>



直売所の販売金額・利用者数は年々増加!

【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機に、農事組合法人を設立し直売所を運営。消費地に近い立地を活かし、**朝採野菜、なにわ伝統野菜**など、多品目の周年出荷により販売額が増加。
- **農家女性や産学連携による商品開発**により競争力を強化。
- 大区画、かんがい施設を活かした**ICT活用によるスマート農業**を展開。

【取組地域の概要】

- 位置 みなみかわちぐんかなんちょう
大阪府南河内郡河南町

大阪府



かなんせいぶ
河南西部地区

- 主要作物
・なす、いちじく、田辺大根、毛馬キュウリ等
- 主な支援施策
・府営農地開発事業(S58~H15)
・府営農免農道整備事業(S57~H8)
・府営中山間地域総合整備事業(H10~H23)
・多面的機能支払交付金(H19~)
・地方創生推進交付金等(H28~H30)

基盤

農地造成、畑地かんがい施設の整備により高収益作物の生産基地を形成

基盤整備により、難波葱、田辺大根、毛馬胡瓜等の“**なにわ伝統野菜**”や、なす、胡瓜、いちじくの朝採等、**都市近郊の立地を活かした高収益作物の生産基地を形成**。



基盤整備

(S58年~H13年)

【整備前】

ゆるやかな丘陵地に、谷地田やみかん畑が複雑に入り組んだ地形で、非効率な営農環境。



整備前

生産現場

ICT活用によるスマート農業を実践

- 担い手の一部が、露地栽培に加え、規模拡大とともに**中古ハウス3棟(約40a)を移設し、養液土耕栽培(パプリカやトマト等)を新たに開始**。
- **スマートフォンでも遠隔操作可能な自動養液調整・かん水システム**を導入し、養液や給水にかかるハウス内作業(1~2回/日)の**省力化が実現**。
- 適正な液肥量や室温設定などの**栽培データを蓄積し、新規就農者へのアドバイス等に活用**している。



女性の活躍や産学連携による商品開発

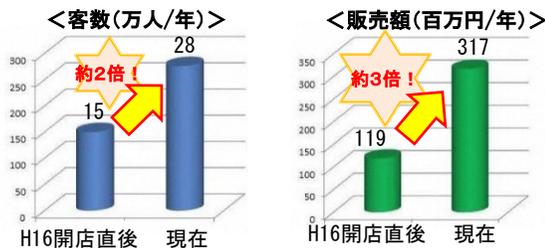
- 基盤整備を契機に設立された「**農事組合法人かなん**」が**地域の女性を雇用**し、米粉スパゲッティや無添加ジャム等を**商品開発**。
- さらに**府内大学(2校)とも産学連携**し、伝統野菜を使用した道の駅弁当や米粉パン等も開発。
- 若者間での口コミ、SNSなど**道の駅かなん**の**間接的なPR**に寄与。



「なにわ伝統野菜」や多品目周年出荷 新たな商品開発による販売額の増加

- 農産物直売所「道の駅かなん」の**集客数および販売額は、それぞれ2倍、3倍**に増加。
(販売額は3億円を突破！)

道の駅かなん: 農事組合法人設立(H16)にあわせ供用開始



- 商品開発のため、農事組合法人が、地域の**女性を24名雇用**。
- 直売所に調理室を増設し、**6次産業化の更なる促進**を図る。



リニューアル後の道の駅



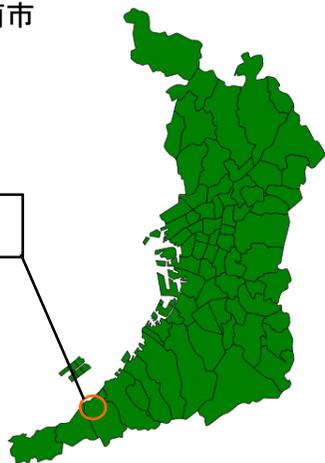
増設された調理室

【対策のポイント】

- 谷口池はかんがい面積5.1ha、貯水量2万5千m³を有するため池。
- **決壊時の影響は住宅だけでも640戸**に及び、その被害は甚大なものとなる。
- このため、3か年緊急対策において、**堤体の改修**を実施。
- 防災工事の完了により、**地震によるため池被害を未然に防止**。

【取組地域の概要】

- 位置 せんなんし
大阪府泉南市



たにぐちいけ
谷口池

- 主要作物
・水稲

事業名	事業費	対策期間
農村地域防災減災事業	1億1,800万円	H28～R1
うち3か年緊急対策	2,300万円	H30～R1

ため池の防災工事を実施

- 3か年緊急対策において、堤体の改修を実施。

対策前



対策後



堤体の嵩上げ
(+0.71m)

防災工事
(H28～R1)

基盤

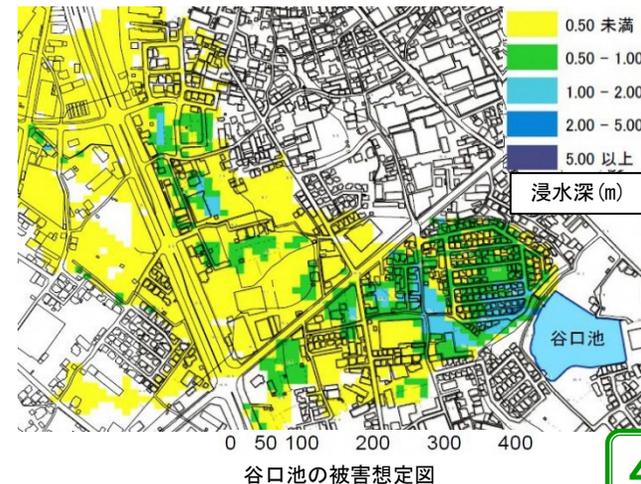
ため池の決壊を防止し、下流の被害を回避

- 従前の堤体は、浸食が著しく不安定な法面を形成。地震時に決壊する危険性があり、**決壊に伴い甚大な被害が想定**。
- **堤体改修の完了により、下流域の浸水被害を防止**。住民等の安全・安心を確保。

対策の
効果

想定される被害

	想定被害額	影響を受ける住宅
対策前 (決壊した場合)	24億1,000万円	640戸
対策後	被害なし	被害なし



谷口池の被害想定図